

事業所名		多機能型事業所 おにぎり				支援プログラム（放課後等デイサービス）				作成日		2024 年		12 月		5 日	
法人（事業所）理念		子供の意思・人格を尊重し、将来的に社会との交わりを持てるように、生活能力の向上を支援します。															
支援方針		お友達との関わりを多く取り、孤立しないように療育をして参ります。 また、音楽療法（リトミック）や英会話なども取り入れ、学習面での支援も行なって参ります。															
営業時間		月～金 土				9 9 時		00 00 分から		18 15 時		00 00 分まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・ 一日数時間の集団療育が楽しみな時間となるようにし、子ども自身が通所することに対して、目的意識を持って生活リズムを把握できるように療育する。 ・ 放課後の居場所となり、心身のパワーが発散できるよう配慮することで健康に過ごせるようサポートしていく。 ・ 個々の主体性を引き出しながら、能動的に行動に起こせるタイミングを尊重した見守り及び、必要に応じた環境支援を取り入れる。															
	運動・感覚	・ 感覚が統合される3条件の「自ら」・「楽しく」・「達成感」を得られる機会を提供する。 ・ リトミック（歌、楽器、布、ゲーム等を通して音楽と共に身体を動かす。動物、植物等を表現する。） ・ 工作（紙、粘土等の様々な材質を使う経験をする。指トレーニング、認知トレーニング） ・ 体操・サーキットトレーニング（体幹を鍛える。楽しく遊びながら運動を経験する。）															
	認知・行動	・ 色や数字、物品など様々な概念獲得に向け、子どもの特性や能力を観察し、課題の提供を行なう。 ・ 集団活動や製作活動にて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援する。															
	言語 コミュニケーション	・ 能動的にアクションに起こせる環境を提供することで心が動く瞬間を増やし、話したい・伝えたいというコミュニケーション意欲を高めていく。 ・ 子ども達が発信するサインに「相手に伝わったという実感」を積み重ねられるようにしていく。 ・ 言語に限らず、表情や仕草、全身運動など様々な手段を通して、自らの思いに自信を持ち発信できる環境づくりを行なう。 ・ 朝、帰りの会（司会、役割を決めて発表する、みんなと相談して決める。）															
	人間関係・社会性	・ 他者との関わりと形成の必要性を伝え、療育していく。 ・ 自己の理解と行動調整が出来るようなサポートを行なう。 ・ 仲間づくりと集団行動への参加が出来るよう支援していく。 ・ 集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関りを持てるように支援していく。															
家族支援		① 児童の発達に関する相談・助言等 ② 支援内容に関する相談・助言等 ③ 家庭生活に関する相談・助言等 ④ 集団生活に関する相談・助言等 ⑤ 制度に関する相談・助言等								移行支援		事業所で支援し、習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができるように、支援を行なう					
地域支援・地域連携		・ 各関係各所との連絡事項の共有 ・ ケース会議等の連携 ・ 他福祉事業所等との連携								職員の質の向上		・ 日々の振返りを大切にし、内部研修や勉強会を実施 ・ 支援の中での気付きや変化は職員間で共有し、積極的に検討会を実施 ・ 各種法定研修や対策予防の実施					
主な行事等		・ 季節や社会イベントなどに合わせ、文化に触れられるような行事を年数回程度実施する。（節分・ひな祭り・子供の日・海の日・クリスマス・誕生日など） ・ 長期休み期間に外出レクを実施する。（商業施設見学・買い物・BBQなど） ・ 他事業所との合同レク開催（小規模体育館などをお借りして、運動系のレク実施など）															